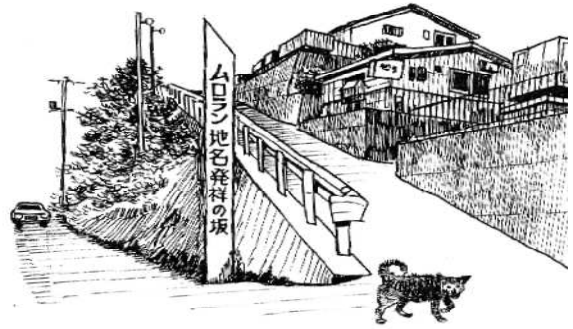


第1章 室蘭の概要

室蘭の語源

アイヌ語の「モ・ルエラニ」から転化したもので「小さな・下り路」という意味です。崎守町仙海寺(せんかいじ)前の坂が、ゆかりの地とされています。



おいたち

天然の良港である室蘭のあゆみは、縄文早期末(約7千年前)にまでさかのぼることができます。室蘭は、貝塚をはじめとする遺跡が全道的にも非常に多い土地として知られ、縄文の各時期、その後の続縄文や擦文、アイヌ文化に至るまで、当時の暮らしを示す多くの遺跡や遺物が確認されています。

慶長年間(1600年ころ)には、松前藩がアイヌの人たちと交易をするため、絵鞆場所を開きました。これも船で往来する当時において、交通の要衝であったことから、幕末には外国船から港を守るため、江戸幕府の命令により南部藩が駐留しました。(南部陣屋...10ページ参照)

開 港(開基)

明治5年、室蘭村(崎守町)に室蘭海関所(かいせきしょ)が設置されるとともに、北海道開拓計画の第一歩として、函館～森～室蘭～札幌を結ぶ札幌本道の開削が始まりました。以来、室蘭～森間の定期航路開設や炭鉱鉄道会社による室蘭～岩見沢間の鉄道敷設、日本郵船による室蘭～函館～青森を結ぶ定期船の就航などにより、港は本州と北海道を結ぶ海陸交通の要衝として発展してきました。

市制施行

大正11年(1922)8月1日に市制が施行されました。当時の人口は52,158人、戸数は10,700戸でした。

市 紋 章(昭和11年(1936)4月13日制定)

室蘭市の紋章は、カタカナの「口」を6個で円周をつくり「ム口」とし、「蘭の花」を図案化して、中に入れました。5枚の花びらの下方2枚は、どっしりと大地をつかみ、市の安定を願っています。



市民憲章(昭和47年8月1日、開港100年・市制施行50年記念事業で制定)

わたしたちは、白鳥湾の美しい自然の中で、たくましく発展している港湾と商工業のまち、室蘭の市民です。わたしたちは、このまちを愛し、市民であることに、誇りと、責任をもち、さらに、豊かな未来をめざし、ここに、市民憲章を定めます。

- 1 健康で働き、明るく楽しい家庭をつくりまします。
- 1 老人をうやまい、子どもの夢をはぐくみ、あたたかい心のかようまちをつくりまします。
- 1 自然を愛し、環境をととのえ、緑豊かなまちをつくりまします。
- 1 のびゆく港と、産業を育て、未来を開く希望のまちをつくりまします。
- 1 決まりを守り、教養を深め、文化のかおりあふれるまちをつくりまします。

市の宣言（制定順）

スポーツ都市宣言（昭和57年10月10日、開港110年・市制施行60年記念事業で制定）

わたしたち室蘭市民は、スポーツをとおして、ゆたかな心とたくましいからだをつくり、健康で明るいまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

- 1 みんな、そろって、スポーツに親しみましょう。
- 1 みんなで、楽しい、スポーツの場をつくりましょう。
- 1 みんなで、仲良く、スポーツあふれるまちにしましょう。

室蘭市いきいき明るい福祉都市宣言（平成6年3月31日制定）

わたしたちは、心身ともに健康でやすらぎのある生活をおくれるまちが願いです。市民一人ひとり、すすんで自らの健康を保ち、明るくうらやましい家庭をつくり、互いに尊重し思いやりのある心をもち積極的に社会参加をし、ふれあいとあたたかい地域社会をめざして、だれもが安心して暮らせる生きがいのあるまちづくりにつとめます。ここに、室蘭市を「いきいき明るい福祉都市」とすることを宣言します。

平和都市宣言（平成11年2月26日制定）

平和で安全な暮らしは、みんなの願いです。

世界で初めての被爆国である日本は、核兵器を「もたず、つくり、もちこませず」の三原則を守り、平和の尊さを世界に伝え、核兵器をなくしていかなければなりません。

恵まれた自然を守り、平和で幸せな未来を子どもたちに引きつぐことは、戦争で多くの大切な命を失った室蘭市民のつとめです。

ここに、私たち室蘭市民は、戦争のない平和な世界を願い、明るく住みよいやすらぎのある市民生活を守るため、平和都市を宣言します。

「ものづくりのマチ」宣言（平成14年7月26日制定）

アピール：「ものづくりのマチ」へ向けて

私たちのまち室蘭には、優れた技術・技能と人材が集まり、たゆまぬ努力により、北海道における工業の拠点として、その発展をリードしてきた「ものづくり」の歴史があります。

私たちの夢や願いを形にする「ものづくり」はいつの時代にも大切な役割を担っています。

先人から受け継ぎ、育んできた「ものづくり」に対する熱い思いを市民の誇りとして、常に新たな技術・技能に挑戦し、新しいものづくりを追求するとともに、次代を担う若者や子供たちに、しっかりと引き継いでいくことが大切です。

私たちは、これまで築き上げてきた港や工場群、技術・技能、歴史や文化といった貴重な財産を新たな視点から見つめ直し、新しい価値を創り出していきます。

私たちは、開港130年市制施行80年を記念し、21世紀にふさわしい「ものづくりのマチ」へ向けて進むことを、ここに宣言します。

安全安心都市宣言（平成19年10月9日制定）

安全で安心した生活をおくることは、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、地域の人たちと互いに手をたずさえて、自らが行動し、身近におこるさまざまな犯罪・事故・災害から、かけがえのない生命や生活を守り、安全で安心なまちづくりにつとめます。

ここに、わたしたちは、ふるさと室蘭を、いつまでも明るい笑顔の絶えることがない安全で安心な都市とすることを宣言します。

位置・地勢

室蘭市は北海道の南西部の噴火湾に面し、北東は登別市、北西は伊達市に接しています。南側は太平洋に突き出た絵鞆半島により形成され、外洋側は 100m前後の断崖絶壁が 14 km も連なる風光明媚(ふうこうめいび)な景勝地になっています。

東	経	(東)	1 4 1 ° 03	東西に約 1 2 km
		(西)	1 4 0 ° 54	
北	緯	(南)	4 2 ° 18	南北に約 1 5 km
		(北)	4 2 ° 26	

面積

市域は、80.88 km²と道内 35 市では、歌志内市、砂川市に次いで 3 番目に狭い (平成 26 年 10 月 1 日現在)ですが、人口密度は、札幌市に次いで第 2 位(平成 27 年 1 月 1 日現在)です。
(北海道市町村課のページより)

気象

室蘭市は、冬期間噴火湾内の海流の影響などから比較的温暖な地域に属しています。

日最高気温	3 2 . 8	(昭和 4 年 8 月 8 日)
日最低気温	- 1 3 . 4	(昭和36年 1 月12日)
日降水量の最大	1 7 0 . 0 mm	(昭和50年11月 7 日)
日降雪量の最大	4 7 cm	(昭和59年 4 月 6 日)
積雪量の最深	6 8 cm	(昭和33年 2 月13日)
日最大風速	南 3 7 . 2 m/s	(昭和29年 9 月26日)
最大瞬間風速	南 5 5 . 0 m/s	(昭和29年 9 月26日)
日最低海面気圧	9 6 2 . 0 hPa	(昭和 9 年 3 月21日)
年降雪量の最大	2 4 8 cm	(平成17年8月～18年7月) 寒降年の定義による寒降期。
初冠雪	最も早い	(昭和59年10月 5 日)
初冠雪	最も遅い	(平成15年11月17日)

「初冠雪」とは夏が終わった後、山麓などの気象官署から見て山頂付近が初めて積雪などで白く見えることで、本市は鷲別岳で観測しています。「初雪」とは、期間内で最初に降る雪のことを言います。

人口

本市の人口は、昭和 45 年ころまで順調に伸びてきましたが、その後の急激な社会情勢の変化で減少傾向を示し、住民基本台帳人口では、平成 17 年 3 月末で 99,113 人(日本人のみ)となり、10 万人を割りました。

国勢調査	人口	国勢調査	人口
大正 9 年 (1920)	56,082 人	昭和 4 5 年 (1970)	162,059 人
大正 1 4 年 (1925)	50,040 人	昭和 5 0 年 (1975)	158,715 人
昭和 5 年 (1930)	55,855 人	昭和 5 5 年 (1980)	150,199 人
昭和 1 0 年 (1935)	65,095 人	昭和 6 0 年 (1985)	136,208 人
昭和 1 5 年 (1940)	107,628 人	平成 2 年 (1990)	117,855 人
昭和 2 2 年 (1947)	96,722 人	平成 7 年 (1995)	109,766 人
昭和 2 5 年 (1950)	110,443 人	平成 1 2 年 (2000)	103,278 人
昭和 3 0 年 (1955)	123,533 人	平成 1 7 年 (2005)	98,372 人
昭和 3 5 年 (1960)	145,679 人	平成 2 2 年 (2010)	94,535 人
昭和 4 0 年 (1965)	161,252 人	平成 2 7 年 (2015)	88,564 人

平成 28 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口は、87,883 人(外国人を含む)です
なお、住民基本台帳による最大人口は、昭和 44 年 7 月の 183,605 人でした。

現 況

明治40年(1907)に現在の(株)日本製鋼所室蘭製作所の、同42年には新日鐵住金(株)棒線事業部室蘭製鐵所の前身が設立され「鉄のまち」として発展してきましたが、第2次世界大戦の際、空襲と艦砲射撃(昭和20年7月14・15日、15ページ参照)により大きな損害を受けるとともに、約400人の死者を出しています。

しかし、終戦後は軍需(ぐんじゅ)から民需(みんじゅ)へといち早く転換したことなどにより、著しく復興が進み、大手の新日鐵住金や日本製鋼所、函館どつく、檜崎造船などの重工業部門と日鉄住金セメント、JXエネルギーなどの近代工業の進出により東北・北海道を代表する重化学工業・港湾都市として、北海道総合開発の推進に大きく寄与しています。

事 業 所(2014年(平成26年)経済センサス - 基礎調査)

総 数	事業所	4,428 力所	従業者	47,415 人
第1次産業	"	1 "	"	24 人
第2次産業	"	683 "	"	12,540 人
第3次産業	"	3,739 "	"	34,851 人

農 水 産 業

農 業(2015年(平成27年)農林業センサス)

農 家 数	23 戸 (専 業...10 戸)
農業従事者数	41 人 (専従者...23 人)
経営耕地面積	265.50 ha

水 産 業(2013年(平成25年)漁業センサス)

漁業経営体	56 力所 (法人...2 力所、個人...54 力所)
世帯員数	170 人

製 造 業(2012年(平成24年)工業統計調査)

事業所数	132 事業所
従業者数	7,723 人
製造品出荷額等	1兆2,982 億円

商 業(2014年(平成26年)経済センサス - 基礎調査)

	卸 売 業	小 売 業	総 数
事業所数	205 事業所	662 事業所	867 事業所
従業者数	1,293 人	4,561 人	5,854 人
商品販売額	1,166 億円	965 億円	2,131 億円

室 蘭 港

明治5年(1872)に室蘭～森間の定期航路を開設したのが室蘭港の始まりであり、第1船として就航したのは、開拓使付属船「稲川丸(いながわまる)」(15t)でした。

現在は臨海部に北からJXエネルギー、日鉄住金セメント、新日鐵住金、日本製鋼所、函館どつくなど重化学工業部門が占めています。

昭和40年に特定重要港湾に指定されており、港湾区域面積は約16.1km²(東京ドームの約362倍)で、貨物取扱量は平成26年で2,320万tとなっています。

平成19年には、耐震強化岸壁が整備されました。平成23年に、港湾法施行令の改正により、特定重要港湾から国際拠点港湾になりました。

主要取扱貨物(2014年(平成26年)実績、総数 2,320万 t)

石油製品	394万t	鉄 鉱 石	376万t	石 炭	261万t
重 油	228万t	原 油	226万t	鋼 材	184万t
石 灰 石	173万t	石 材	107万t	木材チップ	94万t
セメント	79万t				

入港船舶数

平成22年	5,751 隻	22,564,318 総t
平成23年	6,232 隻	25,730,172 総t
平成24年	6,026 隻	27,218,534 総t
平成25年	6,592 隻	27,867,067 総t
平成26年	5,760 隻	22,294,037 総t

入港大型船5 隻(船籍)

	総t数
BRIGHT HARMONY (パナマ)	160,226 t
YAFUSAN (パナマ)	160,216 t
TOKISU MARU (日本)	159,963 t
BRIGHT PINOEEER (パナマ)	159,828 t
NIPPON (パナマ)	159,613 t

入港大型客船5 隻(平成6年以降、平成28年10月31日現在、入港時の総t数)

	船 名	船 籍	初入港日	入港回数	総t数
外国船籍	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	バハマ	2016. 6.24	1 回	168,666 t
	マリナー・オブ・ザ・シーズ	バハマ	2015. 9.12	2 回	138,279 t
	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	バハマ	2013. 9.11	3 回	138,194 t
	サファイア・プリンセス	バミューダ	2005. 4.30	3 回	116,000 t
	ダイヤモンド・プリンセス	バミューダ	2005.10. 7	12 回	116,000 t
日本船籍	飛鳥	日 本	2006. 7.18	12 回	50,142 t
	飛鳥	日 本	1994. 8. 1	17 回	28,717 t
	ぱしふいっくびいなす	日 本	1998.10.27	8 回	26,518 t
	にっぽん丸	日 本	1998. 9.18	7 回	21,903 t
	ふじ丸	日 本	2001. 9.24	6 回	23,235 t

大型けい船岸壁

公 共 岸 壁 (水深 4.5m ~ 14.0m)	4 2バ - ス	延長	6,109 m
専 用 岸 壁 (水深 4.5m ~ 16.5m)	6 2バ - ス	延長	7,821 m

客船の来航

平成28年(2016)6月に、道内に寄港する客船としては最大の16万tを超える大型客船「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」が大型客船の入港に対応するため、同年3月に岸壁の改修を完了した室蘭港崎守埠頭に初入港しました。

また、9月には、「飛鳥」と「ぱしふいっくびいなす」が、スワンフェスタに併せ同時に寄港しました。

姉妹都市

・静岡市（静岡県）

平成15年4月1日に清水市と静岡市が合併し、新たに「静岡市」が誕生しました。本市は昭和51年12月24日に清水市と姉妹都市提携を行い、これまで市民ぐるみの交流を続けて来ています。

静岡市は、人口約70万2千人、面積1,411.90 km²で、県の中央部に位置し、北は南アルプスから南は駿河湾にまで広がる広大な市域です。三方を山に囲まれ、気候は温暖で、お茶・ミカン・イチゴなどの栽培のほか、駿河湾で捕れる桜エビやシラス、清水港に水揚げされる遠洋マグロなど水産業も盛んです。市内には、標高307mの丘陵地「日本平」や5万4千本の松が茂る「三保の松原」などの景勝地や駿府城址、弥生時代の登呂遺跡などの名所旧跡が数多くあります。

・上越市（新潟県）

平成17年1月1日に周辺の13町村と合併し、新たに「上越市」が誕生しました。本市とは、平成2年に室蘭・直江津間にフェリーが就航して以来、相互のまちで物産展などの交流を続け、平成7年10月22日に姉妹都市として提携し、現在までお互いの市の発展を願って、経済・文化交流などが活発に行われています。

上越市は、人口約19万7千人、面積は973.61 km²で、県の南西部、日本海に面し、古くから交通の要衝として栄えてきました。平野部、山間部、海岸部と変化に富んだ地形を有し、佐渡弥彦米山（さどやひこよねやま）国定公園、久比岐（くひき）県立自然公園、米山福浦（よねやまふくうら）八景県立自然公園などに代表される美しい景観や多様な自然に恵まれ、高田公園の桜も日本3大夜桜で有名です。市の中央部には、関川、保倉川などが流れ、この地域に広がる高田平野は日本でも有数の穀倉地帯となっており、酒どころとして有名です。冬期には日本海を渡ってくる大陸からの季節風の影響により、海岸部を除いた地域は豪雪地帯で、スキーの発祥地としても名高い市です。

・ノックスビル市（アメリカ合衆国テネシー州）

本市とは、昭和63年(1988)8月、アメリカ合衆国の広報宣伝のため、全国的に展開された「アメリカン・トレイン」が来蘭した際、同行していたノックスビル市長代理と商工会議所代表が姉妹都市締結の強い要望を持って市内の各界を訪問し、交流が始まりました。以来、ノックスビル市への中学生派遣や、両市の市民の相互訪問などを通して、親善交流を深め、平成3年1月16日に国際姉妹都市として提携しました。以来、今日に至るまで積極的な交流を進めてきています。

Knoxville
Tennessee, USA



City Seal(市章)

ノックスビル市は、人口約18万4千人、アメリカ合衆国南東部テネシー州東部のグレート・バレー盆地の中央に位置する中心都市で、市面積は約269.8km²です。1791年の開基以来200年以上の歴史を刻み、米国南部開発の政治・経済・文化の中心地として発展して来ました。古くは、チェロキーインディアンの狩猟地で、1786年、のちのノックスビル市創始者ジェームス・ホワイトが砦や入植者用住宅を築いたのが始まりです。市内にはテネシー川が流れ、その流域を古くから開発し、米国経済の復興の礎としたTVA(テネシー川流域開発公社)の本部があり、主要産業はこれまで金属・木材・窯業・織物・食品加工などが盛んでしたが、最近では、約2万7千人の学生数を誇るテネシー州立大学を中心とした産学共同による新技術の研究開発や新分野展開が目覚しく、ハイテク応用、バイオ、人工知能、宇宙科学等の企業や学術研究施設も集積しています。また、この地方には、アパラチア山脈などの山々に囲まれた雄大なグレート・スモーキーマウンテン国立公園があり、アメリカでも最も人気のある国立公園として、四季を通して年間約1千万人の観光客が訪れています。

「アメリカン・トレイン」とは、昭和63年に日米友好親善活動の一環として、国鉄民営化後のJRが、外装にアメリカをイメージした星条旗風のデザインで全国を巡業・公開した電車車両のことです。

友好都市

・日照市（中国山東省）

本市とは、平成8年(1996)に中国対外友好合作サービスセンター顧問らが来蘭した際に、日照市との交流を勧められたのがきっかけです。その後、経済などの交流や、訪問を通して親善交流を深めて来ました。これらの交流の機運の高まりから、平成14年7月26日、室蘭市開港130年・市制施行80年記念式典に先立ち、友好都市締結の調印式が行われ、友好都市として積極的な交流を進めています。

平成22年10月には、西胆振観光訪問団として室蘭市長をはじめとする3市3町の首長、観光協会、胆振総合振興局長らの総勢30人が日照市を訪れ、西胆振圏の魅力と医療連携の発展について話し合いました。また本市との経済と文化、観光や医療、学生相互訪問などの各分野で、連携を深める交流調印が行われました。

また、平成28年7月には、室蘭市長、市議会議長、日照市と友好の会訪問団一行6人が日照市を訪問し、行政、経済貿易、教育や文化、観光、医療、高齢福祉などの分野で、日照市長と確認書を取り交わしました。

日照市は、人口約285万人、面積5,310 km²、中国黄海に臨み、山東半島の南にあり、海を隔てて日本・朝鮮半島と向き合っている新興の沿岸港湾都市です。年平均気温が12.7度で四季がはっきりしています。（東京都とほぼ同緯度、管轄区域は室蘭市の約66倍）

歴史は古く、中華文明の重要な発祥地の一つといわれ5千年の歴史があり、数々の遺構や遺跡が発見される中、中国で一番古い象形文字が発見されました。また、国の宝と称されている「日照黒陶」の発祥の地でもあります。市名は「太陽の光を最も先に浴びる場所」として、名付けられました。

昭和60年(1989)に市制施行、平成3年(1991)に国からの特別開発区の指定を受け、港(日照港・嵐山港)を中心とした工業都市として発展して来ました。また、農産物の生産地でもあり、小麦・トウモロコシ・水稻・落花生・綿花・煙草・蚕・お茶などを生産しており、特にお茶の生産量は山東省で最大の生産地です。さらに、車エビ・ホタテ貝・ハマグリ・ナマコなどの海産物の種類も豊富です。一方、海岸線は100 kmもあり、その間きれいな砂浜が64 kmも延々と続き、海水浴場や森林公園などの施設が整い、リゾート地として市民の憩いの場となっています。浮来山には、樹齢3500年もの天下一銀杏があります。

交流都市

・宮古島市（沖縄県）

平成17年10月1日に、平良市が近隣の4町村と合併し、新たに「宮古島市」が誕生しました。本市とは、200年以上前に日本を訪れた英国の探検船プロビデンス号が室蘭市へ寄港し、その翌年プロビデンス号が宮古島市(旧平良市)沖で座礁したという歴史的な出来事を共有している縁で交流が始まりました。平成10年8月3日に、「海とロマンが結ぶ交流都市」として提携し、小学生の交流訪問をはじめ、物産展など市民レベルでの活発な交流を行っています。

宮古島市は、人口約5万4千人、面積は204 km²で、沖縄本島から南西約310 kmの距離に位置し、南海に浮かぶ宮古島を中心に大小6つの島々(宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島)からなっています。これらの島々は、サンゴ礁に囲まれ、全体がおおむね平坦で大きな河川や湖沼もなく、生活用水等はほとんど地下水に頼っています。その現状と合わせ、宮古島では地下水を守ることで環境作りのため、「エコアイランド宮古島」を宣言しています。

年平均気温は23.3度、年平均湿度は79%、降水量の年平均値は2,019 mmで、四方の海から吹く風で熱さがやわらぎ、1年を通して寒暖の差が少なく穏やかな気候です。コーラルサンド(サンゴ粒砂)とも呼ばれる白く美しい砂浜や巨大なサンゴ礁群の八重干瀬(ヤビジ)が有名です。